

第77回 東経夏期情報会

誰も予想できなかった史上初の米朝首脳会談が実現し、日朝会談の可能性も浮上と、歴史の大きな転換期に入りました。堅調とされる国内経済ですが、長期的なシュリンクは間違いなく、武田薬品工業による超大型買収など海外に活路を求める企業もますます増えていきます。

国内は不正・架空取引などコンプライアンス違反による倒産が目立ちますが、長年信用不安がささやかれてきた老舗の花園万頭がついに破産するなど、金融緩和の限界もみえてきました。

恒例の情報会はおかげさまで77回目となります。第1部では東芝の粉飾決算を早々に指摘するなど鋭い分析に定評がある会計評論家・細野祐二氏を迎えて下記2部構成で開催致します。

是非、ご出席賜りますようご案内申し上げます。

第1部 「日本企業の国際的M&Aの動向と国際会計基準採用の利害得失」

会計評論家 細野 祐二 氏



講師プロフィール

昭和28年12月10日生。昭和53年3月早稲田大学政経学部を卒業し、昭和57年3月公認会計士登録。昭和53年10月より平成16年までKPMG日本およびロンドンにおいて会計監査並びにコンサルタント業務に従事。平成16年3月にキャッツ有価証券報告書虚偽記載事件で逮捕・起訴となり、平成22年5月31日最高裁判所上告棄却により、懲役2年、執行猶予4年の刑が確定、公認会計士登録抹消。平成26年6月執行猶予満了。その後、細野祐二会計調査事務所により企業コンサルティングと財務諸表危険度分析の研究及び執筆活動を行っている。
論文「先物外国為替の会計処理と問題点」により昭和59年日本商工会議所会頭賞および日本会計研究会会長賞受賞。著書「国際金融取引の実務」により平成元年日本公認会計士協会学術賞受賞。論文「ベンチャー企業に対する税制上の問題点と若干の提言」により平成7年日本税理士会研究賞受賞。主な著書に「公認会計士VS特捜検察」（日経BP社）、「法廷会計学VS粉飾決算」（同）、「司法に経済犯罪は裁けるか」（講談社）、最新刊「粉飾決算VS会計基準」（日経BP社）を昨年上梓した。

第2部 「注目企業300社の解明」

マスコミでは“危ない300社”として取り上げられ、与信管理担当者のみならず関心を集めています。東京経済が情報を収集した、様々な問題を抱える企業群から注目すべき300社を実名でリストアップし、問題点を簡潔かつ生々しく解説していきます。



▶ 日時 平成30年 8月8日 水 (開演 13:00~16:30)

▶ 会場 東京証券会館8F 証券会館ホール (東京メトロ茅場町駅 8番出口直結)
東京都中央区日本橋茅場町1-5-8 TEL:03-3667-9210
※駐車スペースが少ないため、公共交通機関のご利用をお願いいたします。

▶ 会費 10,000円 (※1名:当日会場受付 または お振込み)
※御名刺をご用意ください。

▶ 申込先
東京経済株式会社 東京支社
TEL:03-3544-6611 FAX:03-3544-6600

主催 / 東京経済株式会社 東京支社 代表取締役社長 / 越智 英雄 常務取締役東京支社長 / 越智 憲雄 〒104-0045 東京都中央区築地3丁目10番2号(第6東経ビル)

貴社名 _____ 御参加者 _____ ほか _____ 名 _____

御住所 _____ TEL _____

お支払方法 (どちらかに○をお付け下さい) 当日現金・お振込み

▶ FAX番号 03-3544-6600

当用紙をそのままFAXしてお申込み下さい

HP用チラシ